

第 14 回日本血栓止血学会学術標準化委員会 (SSC) シンポジウム

SSC Symposium 2020

日 程	2020 年 2 月 22 日 (土) 9 : 15 ~ 18 : 30 ※ 8 : 45 より受付を開始いたします。
会 場	野村コンファレンスプラザ日本橋 (東京都中央区日本橋室町 2-4-3 日本橋室町野村ビル (YUITO) 6F 東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅 A9 出口直結 徒歩 1 分) http://www.nomura-nihonbashi.com/conference/
会 長	森下 英理子 (金沢大学大学院医薬保健学総合研究科病態検査学)
参加費	会 員 3,000 円 非会員 5,000 円 大学院学生・初期研修医 1,000 円 大学生 無料 ※学生証・初期研修医の証明書を提示 ※参加費は抄録集代を含む

プログラム

教育講演 (17 : 45 ~ 18 : 30)

1. 「iPS 細胞を用いた血小板の作製」
座長：大森 司 (自治医科大学医学部生化学講座 病態生化学部門)
演者：中村 壮 (京都大学 iPS 細胞研究所)
2. 「生体侵襲と DIC - Sepsis, Trauma, Cardiac Arrest -」
座長：岡本好司 (北九州市立八幡病院 消化器・肝臓病センター)
演者：丸藤 哲 (札幌東徳洲会病院 侵襲制御救急センター)

学術標準化委員会シンポジウム

午前の部

1. DIC 部会 (10 : 10 ~ 12 : 10)
テーマ「DIC の新たな病態の解明に迫る」

第 1 部

- 座長：池添隆之 (福島県立医科大学 血液内科学講座)
朝倉英策 (金沢大学附属病院 高密度無菌治療部)

- 1-1. 播種性血管内凝固症候群(DIC)離脱と転帰の相関に関するトロンボモデュリン アルファ製造販売後調査での感染症 DIC および造血管器悪性腫瘍 DIC を対象とした解析
河野徳明(県立宮崎病院 内科)
- 1-2. 造血管器腫瘍に合併する DIC への核内タンパクの関与
原田佳代(福島県立医科大学 血液内科学講座)
- 1-3. 血液疾患 DIC の臨床プロファイリング
関 義信(新潟大学医歯学総合病院 魚沼地域医療教育センター・魚沼基幹病院)
- 1-4. Web scraping により DIC 研究の趨勢を探る
村尾修平, 岡田直己, 山川一馬(大阪急性期・総合医療センター 救急診療科)

第2部

座長：岡本好司(北九州市立八幡病院 消化器・肝臓病センター)

山川一馬(大阪急性期・総合医療センター)

- 2-1. 血小板減少症例のスペクトラムを解明する
梅村 稔(大阪急性期・総合医療センター 救急診療科)
- 2-2. 機械学習を用いた敗血症患者の DIC 進展予測モデル
長谷川大祐(藤田医科大学 麻酔・侵襲制御医学)
- 2-3. 外傷性凝固障害の病態論争の過去・現在・未来
和田剛志(北海道大学 救急医学教室)
- 2-4. 外傷の重症度に比例して、全身循環中の障害細胞由来の凝固活性化因子は増加し、トロンビン生成効率は上昇する；ラット鈍的外傷モデルにおける検討
早川峰司(北海道大学病院 先進急性期医療センター 救急科)

2. HIT 部会(10:10～12:10)

テーマ「ヘパリン起因性血小板減少症の診断、治療ガイドライン—暫定案—」

座長：矢富 裕(東京大学大学院医学系研究科 臨床病態検査医学)

宮田茂樹(日本赤十字社 血液事業本部 中央血液研究所 研究開発部)

1. ヘパリン投与患者で、どのような患者で HIT のスクリーニングが必要か？
高田真紀子(東京都立多摩総合医療センター 麻酔科)
2. HIT を疑う際に、有用な臨床的診断法はどれか？ 4Ts スコアをどのように活用し、HIT を診断、治療すべきか？
河野浩之(杏林大学医学部 脳卒中医学)
3. HIT の診断を確定させる際に、有用な血清学的診断法はどれか？
安本篤史(東京大学医学部附属病院 検査部)
4. 代替抗凝固薬をどのように使用すべきか？
伊藤隆史(鹿児島大学病院 救命救急センター, 同大学院医歯学総合研究科 システム血拴制御学講座)
5. どのような症例で抗凝固薬以外の治療を検討すべきか？
宮田茂樹(日本赤十字社 血液事業本部 中央血液研究所 研究開発部)

6. 経口抗凝固薬への切り替えをどのようにすべきか？

大谷美穂(苫小牧保健センター)

7. HIT 既往のある患者への抗凝固療法(ヘパリン再投与を含めた)はどのようにすべきか？

薦田さつき(岡崎市民病院 心臓血管外科)

3. 血栓溶解部会, 凝固線溶検査部会(10:10 ~ 12:10)

テーマ「線溶系の基礎と臨床」

座長: 竹下享典(埼玉医科大学総合医療センター 中央検査部)

長尾毅彦(日本医科大学多摩永山病院 脳神経内科)

1. 線溶機能検査について

a. オーバービュー

a.1. 「凝固が起これば線溶が起こる」

橋口照人(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学分野)

a.2. 「線溶制御不能状態を考える」

内場光浩(熊本大学病院 輸血・細胞治療部)

b. 標準化へむけての課題

福武勝幸(東京医科大学 臨床検査医学科)

2. 線溶療法 up to date

a. 超音波を用いた新しい線溶治療

三村秀毅(東京慈恵会医科大学 神経内科)

b. 救急現場におけるトラネキサム酸の功罪

関根和彦(東京都済生会中央病院 救急診療科)

4. 血友病部会(10:10 ~ 12:10)

テーマ「血友病の遺伝子治療: 臨床導入にあたっての問題点」

座長: 藤井輝久(広島大学病院 輸血部)

1. 血友病の遺伝子治療の現状と課題

大森 司(自治医科大学医学部生化学講座 病態生化学部門)

2. 遺伝子治療を行う上での注意点: 規制や受け入れ準備について

久米晃啓(自治医科大学)

3. 遺伝子治療: なぜ薬価は高騰するのか? 製造側の立場から

木村正伸(タカラバイオ株式会社)

4. 患者は遺伝子治療をどう考えているのか

松本剛史(全国ヘモフィリアネットワーク, 三重大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部)

午後の部

5. 血栓性素因部会，静脈血栓症／肺塞栓症部会(13：20～15：20)

テーマ「血栓性素因を再考する」

座長：森下英理子(金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻病態検査学)

保田知生(がん研究会有明病院 医療安全管理部)

1. がん関連血栓症

池田正孝(兵庫医科大学 外科学講座下部消化管外科)

2. 新生児血栓症の全国調査

落合正行¹⁾，市山正子²⁾，園田素史³⁾，石村匡崇³⁾，後藤和人⁴⁾，堀田多恵子⁴⁾，康 東天⁴⁾，大賀正一³⁾

(¹⁾九州大学大学院医学研究院 周産期・小児医療学，²⁾福岡市立こども病院 新生児科，³⁾九州大学大学院医学研究院 成長発達医学分野，⁴⁾九州大学病院 検査部・臨床検査医学分野)

3. 遺伝性血栓性素因患者の妊娠分娩管理に関する全国調査研究および診療ガイドラインの策定

小林隆夫¹⁾，森下英理子²⁾，津田博子³⁾，杉浦和子⁴⁾，平井久也¹⁾，尾島俊之⁵⁾

(¹⁾浜松医療センター，²⁾金沢大学，³⁾中村学園大学，⁴⁾名古屋市立大学，⁵⁾浜松医科大学)

4. AT 活性測定試薬の標準化ならびに基準値設定の試み

家子正裕(北海道医療大学歯学部 内科学分野)

5. 手術や長期臥床，内科疾患のリスク因子について(VTE ガイドラインから)

荻原義人(三重大学医学部附属病院 循環器内科)

6. 血小板部会(13：20～14：50)

テーマ「血小板減少を来す疾患の診断と治療」

座長：羽藤高明(愛媛県赤十字血液センター)

横山健次(東海大学医学部附属八王子病院 血液腫瘍内科)

1. 血小板減少症のオーバービュー

山之内純(愛媛大学医学部 血液・免疫・感染症内科学)

2. 日常臨床に潜む家族性血小板異常症(FPD / AML)

櫻井政寿(慶應義塾大学医学部 血液内科)

3. 血小板減少が先行する再生不良性貧血の病態診断と治療

山崎宏人(金沢大学附属病院 輸血部)

4. 成人 ITP 治療の参照ガイド 2019 年改訂版の紹介

柏木浩和(大阪大学医学部 血液・腫瘍内科学)，富山佳昭(大阪大学医学部附属病院 輸血部)

7. 血栓溶解部会，凝固線溶検査部会(13：20～15：00)

テーマ「線溶系の基礎と臨床」

座長：鈴木優子(浜松医科大学 医生理学講座)

山崎昌子(東京女子医科大学 脳神経内科)

1) ROTEM, T-TAS, 凝固波形解析と線溶検査への応用の展望
藤森祐多(慶應義塾大学病院 臨床検査技術室)

2) 代表的な線溶異常の病態と検査

1. Trousseau 症候群：特に脳卒中領域での異端性について
長尾毅彦(日本医科大学多摩永山病院 脳神経内科)

2. AL-アミロイドーシスにおける出血傾向と凝固線溶異常
荒幡昌久, 朝倉英策(金沢大学附属病院 血液内科)

3. 重症外傷症例における凝固線溶異常のダイナミクス
下野謙慎^{1,2,4)}, 伊藤隆史¹⁾, 新山修平¹⁾, 安田智嗣¹⁾, 上國料千夏²⁾, 鈴々木恵美子³⁾,
高間辰雄⁴⁾, 大西広一⁴⁾, 吉原秀明⁴⁾, 垣花泰之^{1,2)}
(¹⁾鹿児島大学病院 救命救急センター, ²⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 救急・集中治療
医学分野, ³⁾鹿児島市立病院 臨床検査技術科, ⁴⁾鹿児島市立病院 救命救急センター)

4. PAI-1 欠損症：自験例と病態の考察
橋口照人¹⁾, 竹谷英之²⁾, 窓岩清治³⁾, 内場光浩⁴⁾
(¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学分野, ²⁾東京大学医科学研究所附属
病院 関節外科, ³⁾東京都済生会中央病院 臨床検査医学科, ⁴⁾熊本大学病院 輸血・細胞治療部)

8. VWD/TMA 部会(13:20 ~ 14:50)

テーマ「後天性 Von Willebrand 症候群(aVWS)」

座長：日笠 聡(兵庫医科大学 血液内科)

1. 後天性 Von Willebrand 症候群(aVWS)オーバービュー
日笠 聡(兵庫医科大学 血液内科)

2. 血液疾患における aVWS の多様性
毛利 博(藤枝市立総合病院)

3. 循環器疾患に合併する aVWS
堀内久徳(東北大学加齢医学研究所 基礎加齢研究分野)

4. 機械的補助循環に合併する aVWS
齋木佳克(東北大学 外科病態学講座・心臓血管外科学分野)

9. 抗リン脂質抗体部会(15:00 ~ 16:30)

テーマ「抗リン脂質抗体症候群の検査と治療～部会からの提言に向けて～」

1. LA 部門

座長：保田晋助(北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室)

ループスアンチコアグulant検査の標準化に向けて
山崎 哲(北海道医療大学病院 臨床検査部)

2. SPA 部門

座長：内藤澄悦(北海道医療大学病院 臨床検査部)

自動分析装置を用いた抗リン脂質抗体測定の標準化に向けて

關谷暁子(金沢大学医薬保健学総合研究科)

3. APS 部門

座長：野島順三(山口大学大学院医学系研究科 生体情報検査学)

APS 診療ガイドラインについて

奥 健志(北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室)

10. 凝固系／抗凝固療法部会(15：10～16：40)

テーマ「抗凝固療法の新展開ならびに自己免疫性後天性凝固因子欠乏症のトピックス」

座長：川杉和夫(帝京大学医療技術学部 臨床検査学科)

朝倉英策(金沢大学附属病院 高密度無菌治療部)

上塚芳夫(東京女子医科大学附属成人医学センター)

1. ワルファリンリバースのための 4F-PCC の日本への導入とその後

久志本成樹(東北大学大学院医学系研究科 外科病態学講座救急医学分野)

2. ワルファリン療法中の頭蓋内出血における抗凝固作用緊急是正時のプロトロンビン複合体の位置づけ～PT-INR < 2.0 での対応を含めて～

矢坂正弘(国立病院機構九州医療センター 脳血管・神経内科)

3. 抗凝固療法のモニター

和田英夫(三重県立総合医療センター)

4. 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症

一瀬白帝(山形大学)

共催セミナー

モーニングセミナー(9：15～10：00)

1. 「心房細動患者への DOAC 安全投与～ on therapy range を意識していますか?～」

座長：海渡 健(東京慈恵会医科大学附属病院 中央検査部)

演者：鈴木信也(心臓血管研究所付属病院 循環器内科)

共催：積水メディカル株式会社

2. 「ベネフィックスの市販後 10 年における使用経験」

座長：瀧 正志(聖マリアンナ医科大学 小児科)

演者：福武勝幸(東京医科大学 臨床検査医学分野)

共催：ファイザー株式会社

3. 「遺伝子組換えアンチトロンビン製剤(アコアラン[®])の製造技術と血漿製剤との構造比較」

座長：丸藤 哲(札幌東徳洲会病院 侵襲制御救急センター)

演者：八木有紀(協和キリン株式会社 バイオ生産技術研究所 品質物性グループ)

「腹腔内感染性 DIC におけるアコアランと血漿由来アンチトロンビン製剤との比較」

座長：丸藤 哲(札幌東徳洲会病院 侵襲制御救急センター)

演者：谷川義則(佐賀大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科)

共催：一般社団法人 日本血液製剤機構

4. 「高齢化社会における血友病治療戦略 — 生活習慣病・血栓症リスクをどうコントロールするか? —」

座長：日笠 聡(兵庫医科大学 内科学講座 血液内科)

演者：家子正裕(北海道医療大学 歯学部内科学分野)

共催：バイエル薬品株式会社

ランチョンセミナー(12:25 ~ 13:10)

1. 「インヒビター保有先天性血友病及び後天性血友病の治療の進歩と残された課題」

座長：野上恵嗣(奈良県立医科大学 小児科学教室)

演者：近澤悠志(東京医科大学 臨床検査医学分野)

共催：KM バイオロジクス株式会社

2. 「敗血症を基盤とする DIC の診断と治療」

座長：西尾健治(奈良県立医科大学 総合医療学講座)

演者：山川一馬(大阪急性期・総合医療センター 救急診療科)

「DPC データから見た固形癌と DIC」

座長：西尾健治(奈良県立医科大学 総合医療学講座)

演者：谷口高平(大阪医科大学 一般・消化器外科学教室)

共催：旭化成ファーマ株式会社

3. 「後天性 TTP の最新治療」

座長：松本雅則(奈良県立医科大学 輸血部)

演者：宮川義隆(埼玉医科大学病院 総合診療内科)

共催：全薬工業株式会社

4. 「N8-GP の臨床試験成績と思春期 1 病例での使用経験」

座長：天野景裕(東京医科大学 臨床検査医学分野)

演者：酒井道生(宗像水光会総合病院 小児科)

共催：ノボ ノルディスクファーマ株式会社 メディカルアフェアーズ部

コーポレートセミナー

15:00～16:30

1. 「血友病治療のパラダイムシフト～Beyond ABR～」

座長：嶋 緑倫(奈良県立医科大学 小児科学教室)

演者：中尾 綾(愛媛大学 血液・免疫・感染症内科学)

演者：後藤美和(東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部)

演者：羽藤高明(愛媛県赤十字血液センター)

共催：中外製薬株式会社

15:30～16:30

2. 「血液凝固機序における新知見から臨床を再考する」

座長：松下 正(名古屋大学医学部附属病院 輸血部)

演者：野上恵嗣(奈良県立医科大学 小児科学教室)

共催：CSL ベーリング株式会社

イブニングセミナー(16:50～17:35)

1. 「血友病 A 患者の高齢化に伴う諸問題」

座長：木内 英(東京医科大学 臨床検査医学分野)

演者：鈴木伸明(名古屋大学医学部附属病院 輸血部)

共催：サノフィ株式会社

2. 「これからの血液凝固因子製剤の役割と個別化治療について」

座長：藤井輝久(広島大学病院 輸血部)

演者：康 勝好(埼玉県立小児医療センター 血液・腫瘍科)

共催：武田薬品工業株式会社